

産地情勢 (2021.10.5)

ブラジル産とうもろこし

夏作は作付けが順調で 22%進捗した。(前年 23%)

ブラジル国家食糧供給公社は 2020/21 年産とうもろこしの生産見通しを更に 0.9 百万トン引き下げ、85.75 百万トンと発表した。(9 月 9 日)

ブラジル国家食糧供給公社は 2021/22 年産の生産見通しを 116 百万トンと発表した。(8 月 27 日)

クロープ カレンダー	作付期	受粉期	収穫期	割合	特徴
フルシーズン・ コーン (夏作)	8-9 月	11-12 月	2-5 月	22%	主に国内 飼料需要 向
サフィナ・コーン (冬作)	1-3 月上 旬	4 月	6-8 月	76%	輸出の中 心 大豆収穫 後に作付

ブラジル産大豆

ブラジル国家食糧供給公社は 2020/21 年産大豆の生産見通しを 0.06 百万トン引き上げ 135.91 百万トンと発表した。(9 月 9 日)

ブラジル国家食糧供給公社は 2021/22 年産大豆の生産見通しを 141 百万トンと発表した。(8 月 27 日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロープ カレンダー	9 月-12 月初 め	1 月	1 月-4 月

アルゼンチン産とうもろこし

収穫は 23%進捗した。(平年 32%) 品質は優良が 44%と先週より 3%改善した (5 月 12 日)。

アルゼンチン穀物取引所は 2020/21 年産の生産量を変更せず 4550 万トンと発表。乾燥気候が長引くことと早霜の懸念が残っている。(4 月 7 日)

備考	作付期	受粉期	収穫期
作付は 2 段階に分かれる。	9-11 月始め	12-1 月	3-4 月
	12-1 月	3-4 月	6-7 月

アルゼンチン産大豆

収穫は33%進捗した（平年56%）。品質は優良が9%。（5月5日）

ブエノスアイレス穀物取引所は、2020/21年産の生産量を4300万トンと発表し先月の予想より百万トン引き下げた。（4月14日）

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロープカレンダー	10月-1月中旬	2月	3-6月

米国産とうもろこし

収穫は29%進捗した（過去5年平均22%）。品質は優良が59%。（前年62%）（10月4日）

米国産大豆

収穫は34%進捗した（過去5年平均27%）。品質は優良が58%。（前年64%）（10月4日）

以上、Soybean and Corn Advisor, Inc. Corn+soybean digest より

米国農務省生産量予測（9月10日）

とうもろこし

（百万トン）

	2019/20	2020/21	2021/22
米国（9-8月）	346.0	360.3	380.9
ブラジル（3-2月）	102.0	86.0	118.0
アルゼンチン（〃）	51.0	50.0	53.0

2020/21年度末の米在庫率は輸出・エタノール需要が減少し、7.95%に改善した。

21/22年度は単収・作付面積が増加し期末在庫率は9.51%に改善した。

ブラジルの20/21年度の実産量は乾燥気候で先月より更に百万トン下方修正。

大豆

（百万トン）

	2019/20	2020/21	2021/22
米国（9-8月）	96.7	112.6	119.0
ブラジル（2-1月）	128.5	137.0	144.0
アルゼンチン（4-3月）	48.8	46.0	52.0

2020/21年度末の米在庫率は生産量が増加し搾油が減少したんで、3.88%に改善した。

2021/22年度末の米在庫率は単収が増加し搾油が減少したので、4.22%に改善した。

*北半球の穀物年度は21/22の場合、2021年の月から始まるが南米は2022年の月から始まる。（USDA）